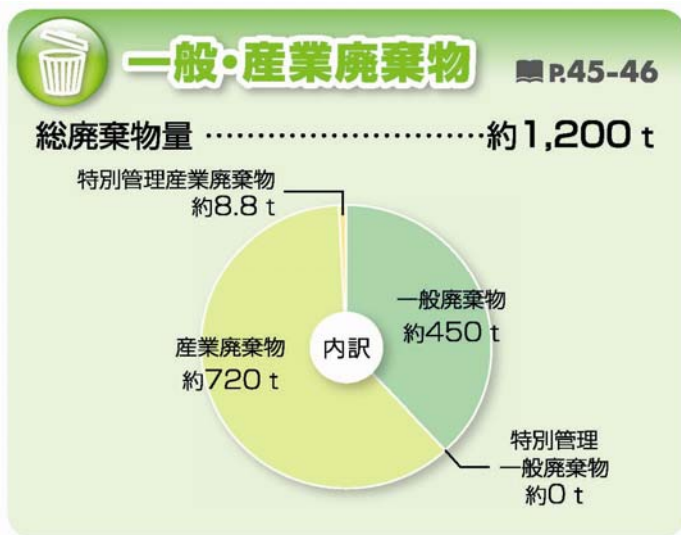


独立行政法人日本原子力研究開発機構 環境報告書 2012 正誤表

頁	修正箇所	誤	正	
32	2011 年度環境目標と結果のまとめ 古紙リサイクルを推進	の前年度比は 約 1.5 倍に増加 約 590t	は前年度とほ ぼ同じ 約 410t	
		1,360t	1,370t	
36	OUTPUT 「主な再生資源量」 総再生資源量 古紙 その他 有価物	約 430t 約 280t 約 150t 約 1,360t	約 240t 約 79t 約 160t 約 1,370t	
45	取組状況 上から 5 行目 上から 6 行目 上から 9 行目 上から 11 行目 上から 12 行目 上から 18 行目	約 1,360t 約 310t 約 1,400t 約 430t 約 410t 比で約 1.5 倍 に増加し、	約 1,370t 約 330t 約 1,200t 約 240 t 約 210t とほぼ同じ、	
45	取組状況 表「廃棄物の種類別発生量、再生資源量 (2011 年度)」	一般廃棄物 発生量 一般廃棄物 再生資源量	約 640 約 410	約 450 約 210
		合計 発生量 合計 再生資源量	約 1,400 約 430	約 1,200 約 240
	一般廃棄物の管理	上から 3 行目 上から 5 行目 上から 6 行目	約 640t 約 46% 約 280t 約 1.7t	約 450t 約 38% 約 79t 約 0.40t
		上から 8 行目	約 120t 約 410t 約半分	約 140t 約 210t 約 3 割
46	産業廃棄物の管理 上から 5 行目 上から 6 行目	約 52% 約 0.64%	約 61% 約 0.75%	

図の差し替え

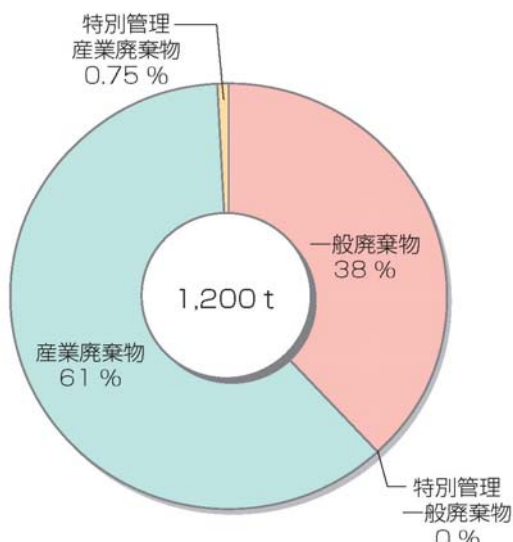


(36頁目)



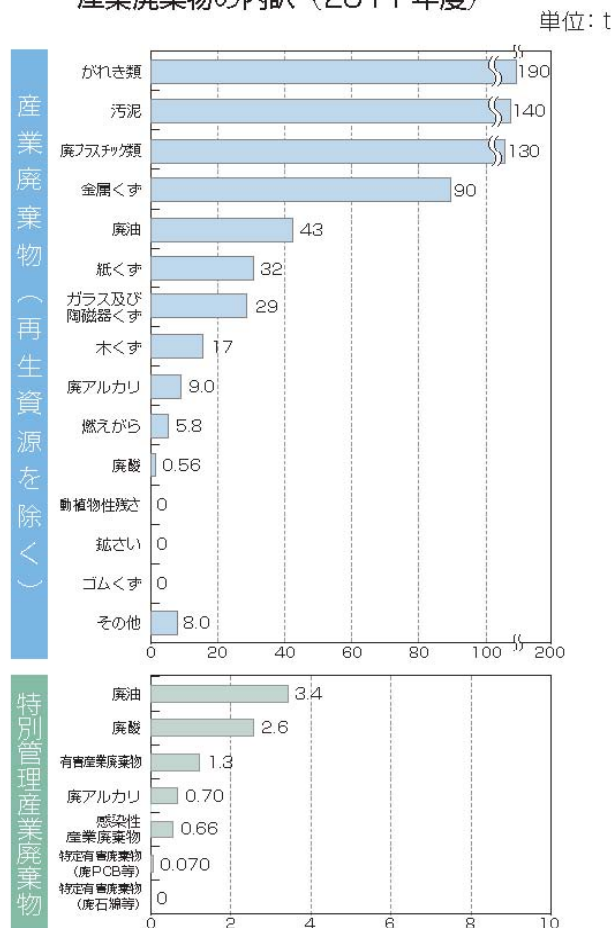
(45頁目)

廃棄物の種類別割合 (2011年度)



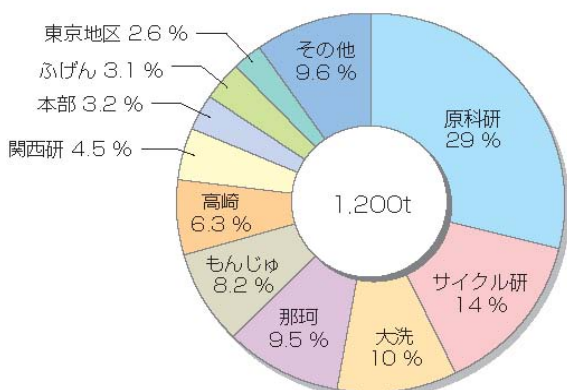
(45頁目)

産業廃棄物の内訳 (2011年度)



(46頁目)

一般・産業廃棄物の総発生量 (2011年度)



その他: 青森、敦賀、人形、東濃、NEAT、梶延、国際セ

(54頁目)